

令和5第1回砺波市行政改革市民会議会議録（要旨）

1 開催日 令和5年10月3日（火） 午前10時～11時18分

2 場所 砺波市役所 本館3階 大ホール

3 出席者 <市民会議委員 13名のうち10名>

池上会長、上田委員、老委員、下保委員、川瀬委員、島田委員、高島委員、
中村委員、堀田委員、米林委員

（沖田委員、武田委員、千々石委員は欠席）

<市当局・事務局 18名>

夏野市長、齊藤副市長、白江教育長、島田企画総務部長、横山福祉市民部長、
坪田商工農林部長、構建設水道部長、嶋村砺波総合病院事務局長、
森田教育委員会事務局長、小西庄川支所長、佐伯企画政策課長、
端谷広報情報課長、二俣財政課長、
安地総務課長、篠島総務課行政係長、飯田総務課人事係長、
雄川広報情報課情報政策班長、宮本総務課行政係主任

4 説明及び協議内容

- （1）会議の趣旨説明及び会長・副会長の選出を行った。
会長に中村委員、副会長に堀田委員を互選した。
- （2）令和5年度行政改革推進体制について説明を行った。
- （3）行政改革報告書及び行政改革推進計画の進捗状況について説明を行った。
- （4）令和5年度提案型事業評価・職員提案について説明を行った。
- （5）専門部会「循環型社会プロジェクト推進部会」について説明を行った。
- （6）デジタル化推進計画の進捗状況について説明を行った。
- （7）（3）～（6）を踏まえて、意見交換を行った。

5 意見・協議の概要

【委員】

令和6年度から開始するプラスチックごみの一括回収について、具体的にはどのような取組みなのか伺いたい。

【市】

市民の皆さんには現在もごみの分別として、燃えるごみと資源ごみの分別を行っていただいているが、令和6年度からは、現在燃えるごみとして分別している一部のプラスチックごみを、プラスチック製容器包装と合わせて一括回収することで、

燃えるごみを減らし、より多くのごみをリサイクルにまわすことができることとなる。令和5年度中は、各地区に出向いて説明会等を開催し、周知に努めているところである。

【委 員】

職員提案については、どのような方法で募集しているのか伺いたい。

【 市 】

職員提案については、職員間のネットワークツールを使って募集する形を取っている。また、昨年度から通年で募集できるように改良を加え、職員が提案しやすい環境作りに努めている。

【会 長】

市役所で働く職員が、積極的に行政改革に資する意見を出せるように、事務局側での環境作りが必要であり、今後も見直しを続けていただきたい。

【委 員】

投票区の適正規模の見直しとして、具体的に杉木地区及び新栄町地区の例が挙げられているが、他の投票区でも同じようなことがあるのか伺いたい。この2地区が出町投票区から林投票区に移ることで、市全体として理想的な形の投票区となるのか。

【 市 】

基本的には、杉木地区や新栄町地区のような規模の区割り見直し対象の地区はなく、当該見直しが達成となれば、市全体として理想に近い投票区となる。

【会 長】

事務効率化と選挙人の投票環境の向上という点での投票区見直しの提案だが、選挙事務という行政にとっての恒常的事務において、今後も不断の見直しを続けていただきたい。

【委 員】

体育施設のオンライン利用申請については、いつ頃を目途に実施開始を予定しているのか伺いたい。

【 市 】

今後、既に実施している他自治体の例を参考に、メリット・デメリットを勘案し、どのように進めていけばいいかを検討したいと考えており、いつ頃実施を開始するかについては、明言することはできない。

【会 長】

オンラインの利用申請については、多くの自治体で体育施設に限らず様々な公共施設において取り入れられているが、実際の運営の中で様々な問題が生じていると伺っている。そのデメリットの部分も見極めながら、またスピード感も失わずに取組みを進めていただきたい。

【委 員】

先般、チューリップフェアの入場料を値上げすることについて報道発表されていたが、入場者数が減少するのではないかと危惧している。また、広報となみに入場無料招待券が付いているが、抜き取りなどの問題が生じていると伺っている。廃止することも検討してはどうか。

【市 長】

入場料の値上げによる入場者数への影響については、ほとんどないものと考えており、実際のイベントの内容を見ると、もう少し値上してもいいぐらいだと思っている。

広報となみへの入場無料招待券添付については、趣旨が2つあり、1つは地元のイベントに市民の皆さんに来ていただくためのきっかけ作りとして、もう1つは、2枚配布することで1枚は市民の方ご自身、もう1枚はご自身以外のどなたかを招待してきていただきたいという思いからのものである。一方で、抜き取りなどの問題が生じていることも把握しており、このやり方については、今後検討していきたいと考えている。

【委 員】

デジタル化の推進については時代の流れとして必要不可欠なものとして認識しているが、情報漏えい対策についても十分留意いただきたいと思う。

【会 長】

大きな方向性としてデジタル技術活用や循環型社会の構築などが時代の要請となっている中で、個々に生じる様々な問題について丁寧に対応していくことが必要である。

【委 員】

行政改革やデジタル化の取組みもとても大切だが、実際に市内で暮らしていると、定住支援策の充実や、観光資源の発掘、中心市街地の活性化などについて思うところがある。そういったところに力を注いでほしい。

【会 長】

砺波市は本当に高いポテンシャルを持っていると考えている。今回のような行政改革等による小さな一つ一つの取組みが、そのポテンシャルを引き立て市全体の成長につながるものと考えている。

【委 員】

投票区の見直しの件について、もう少し早く取り組んでいてもよかったのではないかという思いがある。投票区の見直しに限らず、これからも行政において見直すべき点の掘り起こしとスピード感のある取組みに努めてほしい。

【市 長】

委員の皆さんには様々なご意見等をいただき感謝申しあげる。

プラスチックごみの一括回収については、これまで燃えるごみとして分別している一部のプラスチックごみをプラスチック製容器包装と合わせて一括回収するものであり、市民の皆さんにとっては、分別がよりやりやすくなるのではないかと考えている。

投票区の見直しについては、委員の中にも関係する方がおられるので、調整にご協力をいただければと考えている。

移住定住支援策は他自治体に負けなくらい充実して取り組んでいる。中心市街地については、確かに一時期に比べると賑わいが無くなってきているところもあるが、市全体の賑わいで見てみると、この5万人弱の市において、約30万が集まるイベントを持っているということ自体が誇るべきことであり、市民の皆さんもそのことに誇りを持っていただきたいと思う。

体育施設のオンライン利用申請については、対象施設数も多く、また既に取り組んでいる自治体の例を見るとトラブルが続出しているようであり、すぐに全ての施設が取り組むということができない現状をご理解いただきたい。差しあたっては、いくつかの施設でモデル的に取り組み、その状況を見て、市全体で取り入れるかどうか判断したいと考えている。